

第9回（2025年度）広域科学教育学会大会
プログラム（10時30分～16時30分）

1. 開会の挨拶（Zoom）…………… 千葉大学運営委員長 藤川 大祐

2. 講演「広域科学教育学のフロンティア I」（Zoom）

10:40～11:50（座長：澤 隆史）

学際的アプローチによる生活科学の展開—生活経営学と家庭科教育学の
交差点から考える

生活・技術系教育講座（千葉大学）…………… 准教授 中山 節子

3. 口頭発表（Zoom）【発表12分以内、質疑応答3分】

12:50～15:00（司会：前田 優）

12:50-13:00 発表方法等の説明

13:00-

01 教師有害行動の三層尺度開発と学生反応階梯モデルの初期検証

教育構造論講座（東京学芸大学）…………… 1年 朱 麗宏

13:15-

02 フラッグシップ大学における「探究」と「創造」の学びを往還するSTEAM
教育授業の実践

生活・技術系教育講座（修了生等）……………東京学芸大学先端教育人材育成推進機構

専門研究員 田中 若葉

13:30-

03 中学生のテクノロジーアセスメント能力の形成状況と育成を支える思考の
構造的特徴

生活・技術系教育講座（修了生等）…………… 岩手大学 講師 大林 要介

13:45-

04 乳幼児の意見表明権をめぐる文化的受容—日中の教育・保育政策にみる言説
の比較分析

生活・技術系教育講座（修了生等）…………… 東京学芸大学教職大学院

研究員 何 星雨

14 : 00-

- 05 アメリカでのレッジョ・インスパイアードの実践から日本での課題を考える
芸術系教育講座（修了生等）…………… 小田原短期大学 特任講師 森井 佳代

14 : 15-

- 06 保育現場におけるSDGs・ESD実践の実態と課題 ― キャリア段階別インタビュー調査から見える支援ニーズ
芸術系教育講座（修了生等）…………… 仙台白百合女子大学 准教授 千 凡晋

14 : 30-

- 07 集団で文学教材を読む行為の内実
―初発の感想と単元学習後の感想の比較を通して―
芸術系教育講座（修了生等）…………… 岐阜聖徳学園大学 准教授 神永 裕昭

14 : 45-

- 08 「語り」や「語り手」がもたらす枠物語の様相
言語文化系教育講座（所属教員）…………… 東京学芸大学 教授 大澤 千恵子

4. 講演「広域科学教育学のフロンティアⅡ」(Zoom)

15 : 10 ~ 16 : 20 (座長：澤 隆史)

教師の人材・組織開発研究―理論と実践の往還―

教育方法論講座（横浜国立大学）…………… 准教授 脇本 健弘

5. 総括 (Zoom) …………… 連合学校教育学研究科長 澤 隆史

6. 閉会の挨拶 (Zoom) …………… 横浜国立大学運営委員長 鈴木 俊彰

「広域科学教育学のフロンティア」講演抄録

広域科学教育学のフロンティア I

10 時 40 分 ~ 11 時 50 分

学際的アプローチによる生活科学の展開—生活経営学と家庭科教育学 の交差点から考える

中山 節子（生活・技術系教育講座，千葉大学 准教授）

近年の学術的潮流は、学際性の推進と統合知の深化に向けて進展している。こうした動きは、学問領域の境界を越えた連携を促進する一方で、各分野の独自性を再認識させる契機ともなっている。生活科学・家政学は、その性質上、広範な諸領域から構成される学問分野である。例えば、生活科学・家政学の一分野である生活経営学は、家庭経済、生活設計、家族、地域社会、福祉、消費者問題、ジェンダーといった多様なテーマを扱い、経済学、法学、社会学、社会福祉学など広範な隣接学問分野と密接に関連している。また、教科教育学としての家庭科は、生活科学と異なる枠組みにあるものの、生活を対象とし、生活者のより良い暮らしを追究するという点で共通する基盤を有している。本講演では、これまで国内外で行ってきた学際的共同研究の事例を取り上げ、その意義と課題を検討する。さらに、生活経営学と家庭科教育学という二つの専門領域の相互接続を通じて、個人のエンパワメントと持続可能な社会の構築に向けた研究アプローチを紹介する。

広域科学教育学のフロンティア II

15 時 10 分 ~ 16 時 20 分

教師の人材・組織開発研究—理論と実践の往還—

脇本 健弘（教育方法論講座，横浜国立大学 准教授）

本講演では、「教師の人材・組織開発研究—理論と実践の往還—」と題し、これまで行ってきた調査研究と、それに基づく現場での実践的な取り組みについて報告する。初任者から中堅、管理職に至るまで、教師の成長に関する調査研究や、メンタリングによる人材育成、経験学習に基づくリーダーシップ開発研修など、教師のキャリア段階に応じた人材育成の取り組みを紹介する。加えて、学校組織全体として学びを支える仕組みの構築として、探究的な学びを軸とした組織開発の事例や、教員研修の分析に関する研究にも言及する。さらに近年は、こうした知見を生かし、教職員支援機構・地域センター（横浜国立大学センター）において、教育委員会と大学が連携しながら研修の協働開発を行ってきた実践についても紹介する。これらの取り組みは、学校現場の実情に即しながら、理論的知見を応用・発展させる営みであり、広域科学教育学がめざす学際的・実践的アプローチとも重なるものである。教育現場と理論研究を往還する中で蓄積してきた知見をもとに、研究と実践をいかに結び付けるかについて論じる。